



越谷市子どもの学習・生活支援事業

一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク
(アスポート 子どもの学習支援)

子どもの学習・生活支援事業について

貧困の連鎖の防止のため、生活保護世帯・生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援や居場所づくり、養育に関する保護者への助言を実施しております。勉強を教えるだけでなく、居場所づくり、日常生活の支援、親への養育相談などを通じて、子どもの将来の自立に向けたきめ細やかで包括的な支援を行います。

<2つの柱による支援>

家庭訪問による
相談援助

学習教室で
1人ひとりに合わせた
丁寧な個別指導

學習教室

- 小学生教室
- 中学生教室
- 高校生教室

開催スケジュール

【小学生】

*木・土曜日：約4時間ずつ開催。（どちらか1日を選択）

車での送迎



昼食（軽食）の提供



市内 子ども食堂
からのご協力

- ・千間台子ども食堂
- ・ぽらむの家
- ・きなり食堂

学 習



**早期の支援で学習に遅れを出さず、
学習意欲を高める**

体験活動

工作



絵



実験



野外活動



運動



音楽



体験活動～バス事業所見学～



路線バスがお出迎え



バスにさわってみよう！



洗車機



整備見学



運転士体験



観光バス内で遊ぼう！

遊び・レクリエーション



異学年、違う学校の
児童との交流



楽しいイベントや
レクリエーション



開催スケジュール

【中学生】

火・土曜日：2時間ずつの開催

【高校生】

土曜日：3時間の開催

* 必ず毎回の参加は必要なし。例えば、週1回の参加やテスト前だけの参加等、予定に合わせての参加でもOK

* 上記以外の時間にも特別教室として個別対応も行っている

学習・進学対策

- ・授業の復習・予習
- ・宿題・提出物
- ・定期テスト対策
- ・高校受検指導



- ・レポート作成
- ・資格取得
- ・大学等受験指導
- ・就職試験対策



入試説明会



夏期・冬期講習



面接・作文指導

学習以外の活動も(安心できる居場所として)



季節のイベント



就労セミナー

学習教室で開催。様々な職種の講師を招き、仕事の話を知ったり、ワークショップを行います。

キャリアカウンセラーによるガイダンス



働く目的や職業の選び方を学ぶ

調理師



ネット通販



建築士



カメラマン



就労体験

実際の現場で職業体験を行います。例年、茨城県の農園で開催しています。



+



「行ってみてもいいかな」

- ・ 家庭訪問等で信頼関係をつくる
- ・ 何かを強要される場所ではないことを伝える
- ・ イベントや就労セミナーなどできっかけづくり

「来てよかったな」「また行ってみようかな」

- ・ 一人ひとりのペースで学習に取り組める、付き合ってくれる大人がいる
- ・ 生徒の強みを見つける・活かす（学習以外の活動・イベント）
- ・ 安心していられる場所（否定されない・押し付けられない）

「ちょっと信頼してみてもいいかも」

- ・ 分からないことを素直に伝えてくれる
- ・ ちょっとした悩みをポロっと話してくれる

家庭訪問

家庭訪問等による支援

保護者が社会的に孤立しているケースは非常に多く、外に相談できずに悩みを抱え込んでいる状況がみられるため、積極的な家庭訪問支援（電話相談）を行っています。

進学・進路に関する相談

書類作成補助



学習に関する相談

奨学金に関する相談

不登校・引きこもりに関する相談

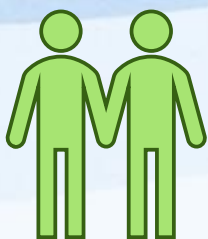
訪問学習・活動共有

学習教室の参加へ

高校・大学等
志望校の
説明会への同行

学校等教育機関
福祉サービス等
との連携

家庭訪問等による支援



【ケース①】

- ・生活保護世帯・ひとり親世帯（母と子の2人世帯）
- ・母は精神疾患あり・本人は現在高校1年生
- ・本人は小学校中学年から完全不登校・ほぼ引きこもり状態

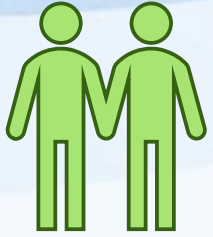
中学1年時、申込みがあるも、初回面談後、連絡が途絶えてしまった。

中学3年時、スクールソーシャルワーカーを通して再度家庭訪問。毎週の訪問開始。
訪問開始当初は本人の好きなスマホゲームを行ったり、会話をしたり。
その後、徐々に学習の時間を増やしていった。

家庭訪問での対応から、特別教室での個別対応へ
外出機会の確保（母と離れる時間）・訪問していた支援員以外の支援員との交流。

中学卒業時は「まだ高校の授業についていく自信が無い」と言い、受験せず。
福祉事務所と協議の上、その後も訪問学習・特別教室は継続。
学校説明会や体験授業への同行支援・高校進学にあたっての費用についての相談も行う。
1年後に通信制高校を受験し、合格。現在、スクーリング・レポートともに順調。

家庭訪問等による支援



【ケース②】

- ・生活保護世帯・ひとり親世帯（母と子の2人世帯）
- ・母は持病あり・本人は現在高校1年生。
- ・本人は自閉症・低血圧（服薬中）・中学時は相談室登校（週2程度）

中学1年時、申込み。通常の学習教室への参加は体調等から難しく、訪問学習にて対応。

中学3年時は週1回の訪問学習を予定して支援。

体調不良の際は学習は行わず、母との面談を行ったり、教材を渡したりして対応。
相談事がある際には母から電話がかかってくることもあった。

入試直前期～入試当日は学校とも協議を行いながら受験に向けてフォロー
登校状況の確認、入試スケジュールの確認、書類作成の手伝い、試験会場までの同行支援

定時制高校を受験・合格。

入学書類作成のフォロー、自転車での登校経路を一緒に確認。
入学後も週1回の訪問学習は継続。登校状況も随時確認している。